

松波小学校だより

第1号
令和3年4月13日
能登町立松波小学校

始まりの季節

4月5日には桜が満開の中、無事入学式を終えることができました。思い返せば昨年の今頃は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって休業となったことと、個人的には学校を異動したことが重なり、桜を楽しむ余裕もなく気が付いたらもうとくに桜は散ってしまい葉桜になっていました。

今年の桜は入学式には満開であったことを考えると、1週間以上もの長い間私たちの目を楽しませてくれました。

松波小学校では、5名のかわいらしい新入生を迎えました。昨年は18名の新入生であったことと比べると急に少なくなりました。人数は5名と少ないですが、毎日元気よく登校して、はつらつとした笑顔を見せてくれています。私は、教頭時代に新入生がいなくて入学式がなかったことを経験しています。新学期が入学式でなく始業式で始まり、寂しい思いをしました。我々が当たり前と思っていることが、当たり前ではないのだということに気付かされました。当然と思っていることがいかに有難いことなのかということです。

5人の1年生が入学してくてくれたことをとてもうれしく思っています。

「全ての出会いに何か意味がある」と教えてくれた人がいました。とすると5名の新入生との出会いにも意味があり、必然であったのだと思えるよう、これからの一つ一つの教育活動を丁寧に確実にやっていかねばならないと、まだ頑張っている桜を校長室の窓から見ながら考えています。



昨日（4月12日）石川県に新型コロナウイルス感染拡大警報が出ました。やっと少しずつ以前の学校が戻りそうだと思っていたのですが、まだまだ緊張しながら感染予防に努める日々が続きそうです。

松波小学校 校長 前田 稔子

運動会は5月15日(土)

雨天順延